

# つくば市における店舗看板の分布とその特徴

伊藤瑞希（地球科学専攻）

## 1. 目的

つくば市中心部の大通りににおける店舗看板の分布とその特徴を考察することを目的とする。本研究では店舗看板のうち、駐車場の入り口や右左折の指示など、車に対しての指示がある看板を対象とする。

## 2. 対象地域

つくば市中心部を走る大通りのうち、学園西大通り、学園東大通り、県道 24 号、県道 19 号とつくば駅周辺を研究対象地域とする。

## 3. 研究方法

GPS 端末を利用して、看板位置のウェイポイントを取得する。その際に店舗の業種、店舗の位置、距離を記録する。そして ArcGIS を用いて地図化、分析する。

## 4. 結果・考察

調査で見つかった対象地域内の店舗看板は 84 である。店舗業種別に見ると(第1図)飲食店看板が最も多く、道路沿いに飲食店が多く立地しているためと考えられる。また駅に近づくともデルルームなど住

宅関係店舗の看板が多く、新規の住宅開発が進むつくば市の特色であると言える。

看板から店舗までの距離別に見ると(第2図)学園西大通りの交差点に 500m 以上距離がある看板が多く集中していることが分かる。特に西大通りの北側は近辺に建物がほとんどないにもかかわらず多くの看板が道路沿いに存在していた。一方で研究学園付近の大通りでは店舗のすぐそばに駐車場の入り口を示す看板が多くあり、店舗までの距離の遠い看板はほとんど見られなかった。

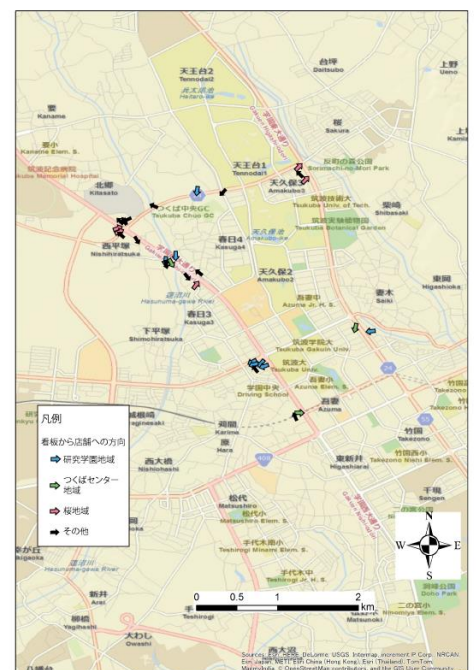
看板から店舗までの距離が 500m 以上離れているものの中で、店舗がどの方向に立地しているかを分類すると(第3図)桜地域、つくばセンター地域、研究学園地域の3つの地域に大きく区分されることが分かった。特に個別店舗が多い桜地域や研究学園地域は駐車場の利用がしやすいため看板も多く見られる。



第1図 業種別の看板の分布



第2図 距離別の看板の分布



第3図 店舗の立地別の分布 (GPS、現地調査より作成)